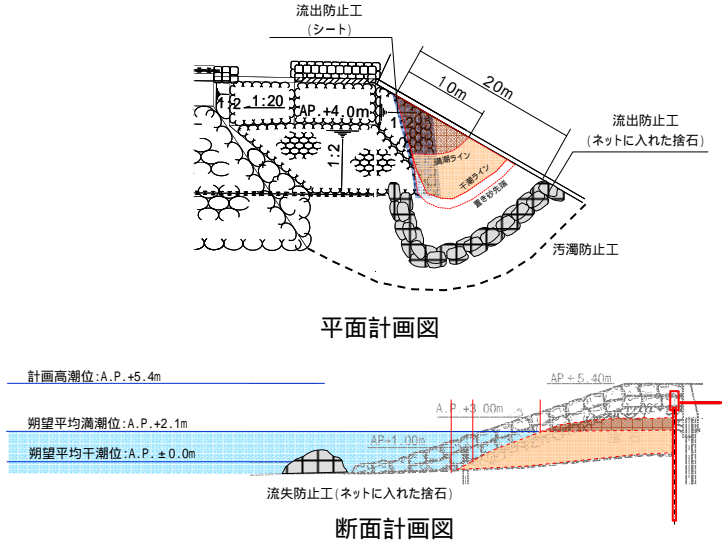


## (2) 平面計画図、断面計画図



7

## 5. H21年度モニタリング調査項目(案)

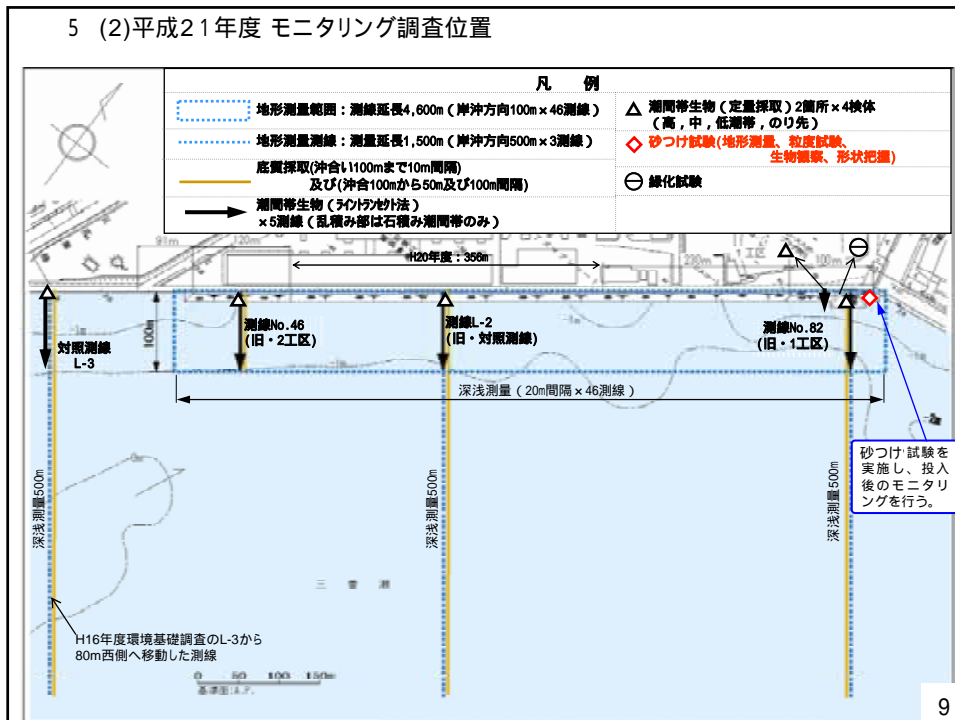
### (1) モニタリング調査項目

赤字部分がH20年度からの変更内容である。

区分	項目	目的	方法	時期(間隔)	数量等
検証項目	地形	・護岸部の張り出しによる周辺への物理的影響の把握 ・洗掘等による周辺地形の変化の把握等	地形測量	春季: 4月 秋季: 9月の年2回 東側端部は年2回 + 1ヶ所(台風等の高波)後	・護岸改修範囲の岸沖方向100m × (43測線) = 測線延長4,800m ・測線No. 82、L-2、対照測線L-3の岸沖方向500m × (3測線) = 測線延長1,500m ・石積護岸の東側端部4地点
	底質	粒径の変化の把握	採泥・粒度試験	春季: 4月 秋季: 9月の年2回	・測線No. 82、L-2、No. 46、対照測線L-3の岸沖方向100mの4測線で10m間隔で採泥(10検体): 合計40検体 ・測線No. 82、L-2、対照測線L-3の岸沖方向500mの3測線では、沖合150m, 200m, 300m, 400m, 500mの5地点で採泥: 合計15検体
	生物	潮間帯生物の定着状況調査は公開とし、ライトランセクト法による観察は市民との協働で行うものとする。	ライトランセクト法による観察	春季: 4月(H21) 夏季: 8月下旬~9月の年2回 冬季: 1月 潮間帯の写真撮影のみ(ただし、夏季に護岸前面に青潮が広がった場合は、冬季調査を実施する。)	・測線No. 82、H19年度乱積施工箇所、L-2、No. 46、L-3の5測線 ・石積護岸(斜面上): 方形枠(50cm × 50cm)による連続目視観察 ・高潮帯から護岸のり先まで1m間隔 ・旧護岸法線より30~100mは10m間隔 ・石積護岸の東側端部の1地点においても観察 ・H19年度乱積施工箇所は潮間帯のみ観察
	緑化試験	・護岸構造を利用した基盤の形成方法を見出す。 ・石積護岸の立地環境に合う植物を確認する。 ・立地環境に合った緑化手法を見出す。	発芽及び移植試験ヤードにおける種まき、植え込み後の観察	平成21年4月~平成22年3月	・発芽ヤードでは、発芽状況と種類、活着状況、他の植物の侵入状況、基盤の保持状況、天候を観察 ・移植ヤードでは、活着状況、他の植物の侵入状況、基盤の保持状況、天候を観察 ・観察頻度は4~9月は2週間に1回、10~3月は1ヶ月に1回
	砂つけ試験	・砂を投入した場合の砂の挙動を把握する。 ・置き砂に現れる生物相を確認する。	地形測量	年2回 + イベント(台風等の高波後)	・置き砂投入範囲の中で1測線
	水鳥	水鳥の場の利用への影響の有無を把握する。	専門家へのヒアリング	年1回	・専門家へのヒアリング1回
				春季: 4月 秋季: 9月の年2回 夏季: 8月下旬~9月 春季: 4月(H22)の年2回	・後浜部、汀線部、のり先付近を基本として、勾配が変化することに1箇所。 ・方形枠(50cm × 50cm)による目視観察 ・潮間帯で1箇所 ・定点撮影
材料	波浪・流況	2丁目護岸周辺の海底地形、底質に大きな変化が見られた場合は、東京湾内にある波浪観測点から外力を推定する。	DO計による測定	青潮発生時	・第1工区の完成断面石積のり先。 ・護岸改修範囲の西側で1地点

8

5 (2)平成21年度 モニタリング調査位置



6. H21年度 実施工程表(案)

区分	年月	H20年度		H21年度												H22	備考		
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			4月	
準備工				■					■								H20年度 海城推石工L=50m		
海城工事	捨石工			■															
	H構杭工																		
	被覆石工																		
陸城工事	鋼矢板工																		
	H構杭工																	H21年度 陸城H構杭工L=205m	
	捨石工																		
	被覆石工																		
モニタリング調査	地形																		別途イベント時対応
	底質																		別途イベント時対応
	生物																		別途イベント時対応
	その他																		青潮観測 緑化試験 砂つけ試験

海城施工期間 (4月-8月)

のり敷期間 (9月-3月)

10

# 7. 塩浜2丁目の護岸改修の流れ

= 順応的管理を踏まえた改修の流れ =

